

ニ奏效シ態度益々強硬ナルニ及シ爭議團ハ愈々窮境ニ  
陥リ殆ト策ノ施スヘキ余地ナクニ至リ最後ノ手段ニシテ再ヒ  
暴行ニモ出テマシキ形勢トナルニ至レルヲ以テ當廳調  
停課ニ於テハ本月二十日係負ヲ派シ双方ニ調停方悠逸  
スルガアリタルニ爭議團ハ之レヲ好機トナシ小松原若太郎當  
廳ニ出頭調停法方ノ調停方申請シタルヲ以テ調停官ハ於  
テ居中調停ヲ爲シタル結果二月七日午後四時別託覺書ヲ交換  
券資双方調停了了シ因滿解決ヲ見ルニ至レリ  
右及申(通)報候也

別記

日本原光株式會社労働争議ハ今因調停官ノ斡旋ニ依リ因滿解決セルヲ以  
テ尤託覺書ニ通テ作成シ當事者双方及調停者各一通ヲ所持スルモノトス

覚書

- 一 曩ニ提出セル歎願書ハ之レヲ撤回スルコト
- 二 會社ハ従業員ノ待遇ニ関シ事情ノ許ス限り深甚ノ考慮ヲ拂フコト
- 三 會社ハ別添十六名ヲ再雇入レスル事
- 四 會社ハ退職シタル職工全員ニ對シ金一千元也兼ニ車賃個人トシノ金五百  
圓也ヲ支給スル事
- 五 兎舞金トシテ田辺狀吉ヨリ金參百圓也ヲ支給スル事
- 六 松尾利義、猪瀬秋二ノ兩名ニ對シテハ會社ハ別ニ兎舞金ヲ支給シ向後一切  
賃ヲ負ハサル事

昭和二年四月二十七日

東京府下三河島町千八八番地

日本原光株式會社

事務 田 辺 狀 吉

關東合同労働組合代表者